

# 各教科等の特質に応じた 見方・考え方のイメージ



中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部において平成28年8月26日「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」が取りまとめられました。これを受け、中央教育審議会では同12月21日、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」が広報されました。そこでは各教科等の特質に応じた見方・考え方のイメージとして、中学校を想定した例示が行われています。

中学校のイメージ

<b>言葉による見方・考え方</b>	自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直して意味付けること。
<b>社会的事象の地理的な見方・考え方</b>	社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること。
<b>社会的事象の歴史的な見方・考え方</b>	社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。
<b>現代社会の見方・考え方</b>	社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること。
<b>数学的な見方・考え方</b>	事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること。
<b>理科の見方・考え方</b>	自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。
<b>音楽的な見方・考え方</b>	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。
<b>造形的な見方・考え方</b>	感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと。
<b>体育の見方・考え方</b>	運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。
<b>保健の見方・考え方</b>	個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。
<b>技術の見方・考え方</b>	生活や社会における事象を、技術との関わりの視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること。
<b>生活の営みに係る見方・考え方</b>	家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。
<b>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方</b>	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築すること。
<b>道徳科における見方・考え方</b>	様々な事象を道徳的諸価値をもとに自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、自己の人間としての生き方について考えること。
<b>探究的な見方・考え方</b>	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて問い続けること。
<b>集団や社会の形成者としての見方・考え方</b>	各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現と関連付けること。

文部科学省 > 政策・審議会 > 審議会情報 > 中央教育審議会 > 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）別紙